

# アルプス薬品工業(株)(製造業(製薬)・飛騨市)

## ICT(情報通信技術)を活用した柔軟で働きやすい環境整備が、生産性向上と人材確保につながる

- ・ I C T 活用とペーパーレス化でリモートワークを実現し、業務継続と意思決定の迅速化を達成
- ・ リモートワークに短時間勤務を組み合わせることで、子育てや介護中の社員の離職防止や障がい者雇用にもつながる
- ・ 社員満足度調査を基に職場環境を改善し、働きやすさと人材確保を同時に実現



飛騨市で薬品の原材料を製造するアルプス薬品工業（株）。従来から生産性向上のため、I C T の活用に力を入れてきましたが、より一層 I C T 活用に舵を切るきっかけとなったのは、新型コロナウイルス感染症の拡大でした。

飛騨市に本社を構える（株）アルプス薬品工業

## リモートワークにより、子育て・介護中の方、障がいのある方の働きやすさを改善

コロナ禍でも業務を継続するため、リモートワーク環境の整備とペーパーレス化を併せて推進し、工場など現場業務を除き、大部分の業務は会社に出勤しなくても完結できる体制を整えました。

この取組は、社員の働きやすさの改善にもつながりました。自宅でも会社と変わらず業務できるようになったことで、子育てや介護中の方が、子どもの発熱や介護等で急に自宅に帰る必要がある場合にも、自宅で業務を継続できるようになりました。



リモート会議に参加する社員

また、通勤に不安を抱えていた障がいのある方も、自宅でできる業務を切り出した上で、整備されたリモートワーク環境を生かし、自宅で全ての業務を完結できるようになりました。7名雇用している障がい者のうち3名は完全にリモートワークで勤務するなど、障がい者雇用の推進にも寄与しています。

## 短時間勤務制度も整備し、育休明け社員の復職率は100%に

これらの取組に加えて、短時間勤務制度も整備されたことで、育休明けの社員の復職率は100%と、社員の離職防止にもつながりました。短時間勤務制度とリモートワークを組み合わせることにより、子育て・介護中の方や障がい者などが個人のニーズに応じて、柔軟で働きやすい環境になっています。

## ICT活用や働きやすい環境整備の取組が、人材確保にも功を奏する

新型コロナウイルス感染症が5類に移行してからは、コロナ関連以外の薬品の需要が大幅に増え、各製薬会社は増産要請に迫られましたが、同社はICT活用や働きやすい環境整備の取組を先だって進めていたこともあり、限られた人員の中で、急な増産要請にも対応できています。

「当社は社長が完全ペーパーレス化を早い段階で判断したことにより、現在では、重要書類など紙で保存する必要があるものを除き、ほぼ全ての書類が電子化されました」と語る石原真樹総務部長。

「この結果、上司が長期出張している場合でも、出張先から電子決裁を受けることが可能になり、意思決定のスピードが上がりました。また、働きやすい環境になったことによって、これまで育ててきた社員が、出産などを経ても、確実に復帰してくれるようになったのは、人材確保という点でも非常に大きいです」

## 社員の声に耳を傾けながら、生産性向上と働きやすい職場づくりの両立を目指す



社員からの声をもとに、  
ストレッチ教室を企画、開催

加えて同社では、社員の満足度調査を行い、隨時、職場環境の見直しを進めています。

最近では社内で提供している弁当給食について、社員から改善のための意見などを募り、メニューの充実化など見直しの参考としました。また、肩こり、腰痛予防対策の一環として、社員の声をもとに、ストレッチ教室を企画、開催しました。

石原総務部長は、「社員にとって働きやすい職場づくりは、会社の生産性向上の基礎になるとともに、人材確保にもつながります」と話します。

今後も社員の声に耳を傾けながら、生産性の向上と働きやすい職場づくりの両立を目指しています。

### 【従業員の声】

ICT環境の整備や健康経営の推進により、急な家庭事情でもテレワーク勤務が可能となるなど、生産性を落とさず、多様な人材が多様な働き方をできる環境整備が進んでいると思います。

【アルプス薬品工業（株）】（<https://www.alps-pharm.co.jp/>）

所在地：飛騨市古川町向町2丁目10番50号

従業員：358名（うち正社員310名、社員登用前提契約社員23名、再雇用18名、パート4名、派遣3名）

設立：昭和22年（創業：昭和34年）

（令和8年1月末時点）